電機工場要求提出

造船部の示威運動に加

但し午後は平靜に就業

工場側は會社に依り斷然休業

川崎示威續行

疲勞の色も見せず總勢一万五千が堂々と練る

一部葺合分工場へ雪崩入り

分工場の三百餘名も參加

造機の後へ要求書提出

後へ〜と要求書提出

例の如く社長の歸朝迄

型の通り突き返される

隱忍持續

孕石所長曰

午後は

本社前

水桶數

激勵演

型の如

會社の

責任は

生活を